

## 4 自己を高めるボランティア活動

学習したことを単なる知識や技術の習得に終わらせずに、社会体験を通して豊かな心をはぐくむ個性的な学習として、自分を高めたり、自分を磨いたりできるボランティア活動に活かしていきましょう。

ボランティア活動は現代社会において、豊かで活力ある社会を築き、生涯学習社会の形成を進める上で、重要な役割を持っています。ボランティア活動は、そのものが生涯学習であり、また、ボランティア活動を行うために必要な知識・技術を習得するための学習も生涯学習です。更に人々の学習を支援するボランティア活動によって生涯学習の振興が一層図られます。

我が国においても近年急速にボランティア活動が注目を浴びるようになってきました。ボランティア活動の分野は、社会福祉をはじめとして、教育、文化、スポーツ、国際交流・協力、人権擁護、自然環境保護、保健・医療、地域振興など多岐にわたっています。

このように、ボランティアの活動領域は幅広く、日常の生活のあらゆる側面に及んでおり、高齢化社会への対応、豊かで潤いのある地域社会づくりなどに欠かせないものであり、一人ひとりが自由意志に基づき、その立場や能力に応じて、気軽に楽しく参加できることが重要で、人間性を豊かにする上で大きな役割を果たすものです。

このため、生涯にわたって学習し、より豊かな心を持った人間として成長し、生きがいのある豊かな社会を築くために、持てる力をボランティア活動に活かしていきましょう。





職業人を中心とした社会人が、学校教育の修了後、いったん社会に出た後に行われる教育をいう。その役割は、内容や対象により①社会の変化に対応する専門的で高度な知識を学び直すこと、②既に学んだ分野以外の新たな知識・技術を見につけること、③教養を見につけ、人間性を豊かにすることに 大別できる

## 5 新しい知識・技術を学ぶ生涯学習

科学技術の進歩や高度情報化の進展に対応して、絶えず新しい知識や技術を身につけ、職業能力を開発・向上するとともに、幅広い知識・教養や専門的な知識の習得を目指し、リカレント教育<sup>(※)</sup>等を通じて、自ら積極的に学んでいきましょう。

科学技術の著しい進歩や技術革新、高度情報化の急速な進展の中で、社会や経済がめまぐるしく変化している今日では、学校や職場で習得した職業に関する知識や技術を基礎にして、絶えず新しい知識・技術を学び続けていく必要性が大きくなっています。

また、今後、社会人の学習を可能にする休暇制度の充実などに対応して、企業外の各種の教育・訓練機関において、社会人の再訓練・教育を一層充実していくことが望まれます。

このため、企業内外における教育・訓練は、公共職業能力開発施設や民間教育・訓練機関とも連携しながら、生涯のあらゆる段階を通じて必要な職業能力開発等の機会が得られるよう学習環境を整備する必要があります。また、幅広い知識・教養や専門的な知識、職業能力開発等についても、大学や短期大学などの高等教育機関における学習機会、いわゆるリカレント教育を積極的に活用し、その向上を図っていきましょう。

## 6 豊かな環境を大切にしていけるための生涯学習

かけがえのない地球を未来に引き継いでいくために、私たち一人ひとりが人間と環境とのかかわりについて、理解と認識を深め、環境を大切にしていきましょう。

近年の環境問題は、自動車排出ガスによる大気汚染、生活排水による水質汚濁、ごみの多様化と量の増大など、私たちの生活様式の変化に起因するものが、大きな原因の一つになっています。更に、社会経済活動の進展は、地球の温暖化、オゾン層の破壊をはじめとする地球規模の環境問題を引き起こしており、人類が生存し続けるには、これらを解決することが人類共通の課題になっています。

このような課題に積極的に対応するためには、地球の豊かな自然や環境、特に水や森林などを貴重な財産として大切にし、未来の世代に引き継いでいくことが今を生きる私たちの責務であることを認識し、その上で環境にやさしい行動を心がけ、生活や社会・経済のしくみを環境にやさしいものに変えていくことが必要です。

このため、府民一人ひとりが、子供から高齢者まで成長の各段階に応じて、人間と環境とのかかわりについて、関心と理解を深めるとともに、日常の生活や活動の各場面で役立つ知識やノウハウを学習し、身につけることによって、環境を大切にしていきましょう。